（法第10条第1項第5号関係）

設 立 趣 旨 書

1　趣　旨

近年、気候変動や海洋ごみ問題、森林減少などの環境問題は深刻さを増しており、私たちの暮らしや子どもたちの未来に大きな影響を与えています。また、発展途上国においては、貧困や教育機会の不足により、子どもや家庭が安心して生活できない状況が今なお続いています。

さらに、現代社会においては、子どもたちが自分のいのちや人権、心と身体の健康について学ぶ機会が十分とは言えず、正しい知識や安心して相談できる大人との関わりが求められています。子どもたちが健全に成長し、自分自身を大切にしながら生きていくためには、環境問題とあわせて、いのちの大切さや人との関わりについて学ぶ場が必要です。

本法人は、環境保全活動および環境問題の啓発、発展途上国の子どもや家庭への支援、ならびに、いのちの大切さ、人権、心と身体の健康に関する学び（性教育を含む）を通じて、子どもたちが健全に成長し、安心して暮らせる持続可能な社会の実現に寄与することを目的としています。

これらの事業は、特定の個人や団体の利益を目的とするものではなく、地域社会に広く開かれ、不特定多数の人々が環境や社会課題について考え、行動するきっかけを提供するものであり、不特定多数の者の利益の増進に資するものです。

また、今後活動を継続的かつ安定的に行っていくためには、社会的信用を確保し、行政機関や学校、企業、他団体との連携を円滑に進める必要があります。そのため、任意団体としての活動にとどまらず、法人格を取得することが不可欠であると判断しました。

2　申請に至るまでの経過

2025年1月
環境問題や子どもを取り巻く社会課題に関心をもつ有志により、任意団体「ハチドリ大分」として活動を開始。毎月、ビーチクリーンや地域清掃活動を継続的に実施し、地域環境の美化と環境意識の向上に取り組んでいる。

2025年3月, 2025年7月
環境活動家谷口貴久氏を招致し、講演会を開催。100名を超える参加者に対し、気候変動をはじめとした環境問題についての啓発を行った。

2025年7月
国際協力分野で活動する竹中俊氏を招致し、ネパールにおける貧困問題や、生理小屋の慣習などの人権課題についての講演会を開催した。

2025年8月
ビーチクリーンで回収したごみを活用し、コースター制作のワークショップを開催。楽しみながら環境問題について学ぶ機会を提供した。

2025年10月
発起人会を開催。

2026年10月
設立総会を開催し、定款、役員等を決定。

以上の経過を経て、
特定非営利活動法人ハチドリ大分の設立を申請するものである。

2026年10月11日

特定非営利活動法人　ハチドリ大分
設立代表者　氏名　花木美穂